

造影剤の使用について

1. 造影剤の使用目的

今回実施する検査(造影CT・造影MRI・その他)では、造影剤を使用します。造影剤を使用する事により病変の性質、範囲、形状などの、詳しい情報を得ることが出来ます。

2. 造影剤の使用方法

造影剤は手動、または機械で自動的に注入しますが、万が一血管外に造影剤が漏れた場合、注射した部位が腫れたり、痛みを伴う事があります。少量の場合は時間がたてば自然と体に吸収されますが、多量の場合はすぐに検査を中止し、医師の指示に従って対応させていただきます。

造影剤を注入する際に熱感を伴いますが、一時的な刺激なので心配ありません。

3. 副作用

まれに、以下のような症状が出現する場合があります。

軽度な症状 : かゆみ・発赤・悪心・嘔吐・血圧低下・血管痛・頭痛など

(CT 約5%以下 MRI 約2%以下)

重篤な症状 : ショック・痙攣・呼吸困難など

(CT 約0.04%以下 MRI 約0.005%以下)

※造影剤を使用した直後から症状の出る場合が大半ですが、24時間以上経過してから症状が出てくる場合もありますので、何か異常を感じたらすぐ当院に連絡してください。

4. 副作用に対する対応

副作用が軽度な場合は経過観察のみで改善する事が多いですが、中程度の場合は症状に応じて抗アレルギー剤や副腎皮質ステロイドなどを投与する場合があります。重度の場合は、気管支挿管など特別な治療を要する場合があります。

5. 検査前の注意

過去に造影剤を使用した検査で副作用が起きた方、またはぜんそくやアレルギー体質の方、β遮断薬(狭心症・不整脈などの薬)使用中の方は副作用の発生頻度が高くなることがあるので事前にお申し出ください。

腎機能が低下した方に造影剤を使用すると、腎機能が悪化することがあります。そのため、採血をして腎機能の検査を行うことがあります。採血結果がでるまで待つていただくことがありますのでご了承ください。

糖尿病薬服用中(ビグアナイド系糖尿病薬)の方は造影検査が行えない場合があります。検査前2日～検査当日～検査後2日の計5日間の服用中止が必要です。(MRIを除く)

※検査終了後はしっかりと水分を摂取してください。